



星の郷総合教室

No. 151

平成25年1月25日発行

電話072-895-6230

名前 _____

塾報受取日 _____ 月 _____ 日

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひ致します

2月の予定

1月28日 2月度授業料引落日

(2月8日 引き落とし予備日)

1月27日 近畿珠算競技大会大阪予選

2月10日 1～3級珠算検定試験

段位認定試験

特別練習の予定

1月26日・2月2・9・16・23日

5時～7時

☆☆☆ 対 象 ☆☆☆

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 西日本大会出場者
- 3月i-test受験予定者
- 近畿決勝大会出場者
- 1～3級・段位受験者

2月10日検定について

2・3級…星の郷教室 午前8時

1級…北大阪会議所 午前11時20分

段位…枚方市民会館 午前10時

当日は午前7時に教室を開けます。
自由に練習してください。1級と段位
は会場に直接行ってください。時間に
余裕を持って行動してください。会議

所までの行き方についての案内は教室
にありますので必要な方は申し出てく
ださい。1級受験の中学生以上は生徒
手帳を持って行ってください。

近畿大会大阪府予選について

大会は大阪商工会議所で午前9時30
分開始、午後0時30分終了予定です。
出場者は星田駅に7時40分に集合して
ください。大阪天満宮（中学生290円
・小学生150円）までの切符を買って
おいてください。

大会は小学4年生以下の部・小学5
～6年生の部・中学生の部の各部門か
ら大阪代表選手をそれぞれ8名ずつ選
出します。代表になった選手は当日午
後に合同練習会がありますので会場に
そのまま残ります。（昼食が出ます）
決勝に残れなかった選手の行動につい
ては別途考えます。

クリスマスカップ2012結果

○小学2年生以下の部

金本愛夢	個人総合競技	第2位
	フラッシュ暗算	第2位
	読上算	第6位
	読上暗算	第4位
	英語読上算	第6位

大内峻聖	個人総合競技	第3位
	フラッシュ暗算	第4位
	読上算	第27位
	読上暗算	第3位
	英語読上算	第12位

○小学3・4年生の部

大内悠聖	個人総合競技	第2位
	フラッシュ暗算	日本一
	読上算	第25位

○小学5・6年生の部

☆団体総合	(金本三夢・金本大夢・ 岩成海チーム)	第7位
金本三夢	個人総合競技	日本一
	フラッシュ暗算	第2位
	英語読上算	第6位
金本大夢	個人総合競技	第4位
	フラッシュ暗算	第3位
	読上算	第4位
	読上暗算	第5位
	英語読上算	第12位

あんざん種目別チャンピオン大会

15位以内入賞者一覧

【1部・5段以上取得者】

	乗	除	見
金本 三夢	1位	1位	5位
金本 大夢	2位	2位	1位
大内 峻聖	3位	7位	
大内 悠聖	5位	3位	11位
金本 愛夢	9位	12位	3位

【2部・2級以上の中学生以上】

山内 星徳	3位	1位	10位
黒田 佳花	4位	11位	6位
黒田 幸花	9位	15位	8位
窪田 茜	14位		1位
萩森 光恵			13位

【3部・2級以上の小学5・6年】

岩成 海	6位	1位	3位
------	----	----	----

桑原 唯衣	7位	8位
-------	----	----

【4部・2級以上の小学4年生以下】

福田 陸人	1位	1位	3位
池田菜乃子	15位	13位	

【6部・2級未合格の小4以下】

黒木 康平	4位	3位	
森岡 賢一		5位	11位
河田 青大			13位

出席時間20時間以上の生徒

(1月20日までの1ヶ月)

金本三夢41 金本愛夢37 山内星徳37
 金本大夢35 桑原彩衣34 神山周32
 桑原唯衣31 山内優歩30 山内美空
 30 桑原麻衣28 山口愛未28 奥田あ
 さひ27 西村早貴27 文沢駿介25 村
 垣夏南25 岩成海24 小野澤怜花23
 楓まい23 梶原太智23 湊結子23 森
 岡賢一23 大土井楓賀22 大土井穂賀
 22 齋藤小春22 田伐志帆22 仲井心
 琴22 黒木康平21 塚本裕策21 竹下
 柗希21 竹下椋香21 中村如月21 福
 田陸人21 山根建太朗21 北森遥弥20
 中野楽20 松下菜々20

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ペ
 ージ以上進んだ生徒)

水越友香73 中川ひより61 大土井穂
 賀57 森本爽月56 端野志51 小野澤
 遼50 高山琴音37 楠戸遥葵34 佐伯
 理仁33 金子直毅32 由比彩菜26 南
 龍介20

フラッシュ暗算合格者

(1月20日までの1ヶ月間)

3級 金井叶斗

4級 金井叶斗

5級 池田優花

6級 窪田大誠 仲井心琴

7級 窪田大誠 池崎佑磨

8級 宇佐美碧海 畑那奈

9級 宇佐美碧海 岡田亜瑠

池口怜佑 出合拓翔

10級 岡田亜瑠 池口怜佑 出合拓翔

河野美紅 黒田朋花 松田拓也

松田航

もっと伸びるために…

健康な体作りにはバランスの取れた食事が不可欠です。そこに適度な運動と十分な休養が合わさって、健康が維持されるわけです。

そろばん学習においても伸びるために必要な要素はいろいろありますが、不可欠なのは、①良い練習ができる環境、②本人の努力、③家庭の協力の3点です。



よく「そろばんを習うと集中力がつく」といわれますが、それは集中できる環境で目的意識を持って取り組むことで初めて獲得されるものです。

運動でいえば、いくら気が乗っていても走れば心拍数は上がりますし、汗もかきます。このように、意識とは関係なく体の準備は進められますが、そろばんの練習ではそうはいきません。無目的にダラダラと練習したところで効果は上がりませんし集中して練習するのを邪魔するような環境では強い意志が無いと上達は望めません。

良い練習環境とは、「伸びていこうとする集団が醸し出す雰囲気」を持つ場のことを言います。もちろん、この土台の上に設備や練習問題などが整備

されていれば言うことはありません。



「ネギを食べれば頭が良くなる」という話が一時期伝わったことがあります。テレビ番組で「納豆を食べればやせることができる」というデマが流されたこともありました。それよりは信憑性があるかもしれません。

ここでいう「頭が良くなる」というのは確か「成績が上がる」といった意味だったと記憶していますが、実際はいくら朝から晩までネギばかり食べたところで学校のテストの得点が増えるはずもなく、勉強しなければどうにもなりません。

ネギに成績を上げる特効成分はありません。あるのは、成績を生み出す脳に好影響を与える何かの成分なのでしょう。本人の努力無くして、物事の上達はあり得ません。



今から25年前、私はある学習塾を引き継ぐことになって、子どもたちの教育に関わる世界に入りました。

当時、ある保護者と交わした会話が今でも鮮明に残っています。

なかなか成績が上がらず、家庭学習もしない我が子のことを散々非難した後、「今度の月曜日は、父親の仕事が休みのため、学校を休んでテーマパークに行きます」と仰ったのです。

正月太りからなかなか元に戻らない私。正月に限らず、もう何十年も太ったままなのは指摘されるまでもなくわかっていますが、頭の中ではダイエットの必要性を強烈に感じてはいるものの、別腹ならぬ、「別脳」や「別腕」

が勝手に口の中に飲み物や食べ物を放り込んでしまうものですから、減量などできるわけがありません。

言っていることと行動とが同一人物のものであると主張するのが恥ずかしいのですが、しかし、草しか食べない象でさえあれほど大きな体なのですから、肉も魚も食べる私が大きくなならないわけがないとあきらめています。

さて、先の保護者さん。

子どもの成績を上げたい、でも平日ならば空いているであろうテーマパークを優先しました。子どもの頭の中にできあがる「学校<テーマパーク」の図式ができあがった瞬間です。

「学校よりもテーマパークを優先したのですから、今後、子どもの成績云々を言うのはご家族の中だけにして下さい」と、頭で考える前に反射的に口から出してしまった私。発言を吟味して口にするのを思いとどまらせるべき「別脳」は、この時休んでいたとしか思えません。

父親が遠洋漁業の乗組員だとか、南極越冬隊の隊員だとか、数年に一度しか会えないという理由などで、学校よりもどうしても優先しなければならない事情があるのならまだしも、休日のテーマパークは並ぶのが大変だからということだけを理由に優先順位を無視したのでした。

何かを実現しようとして突き進んでいく過程は、一方で別の何かを捨て去る過程でもあります。これは、選択、または我慢という言葉で表す場合もあるのでしょうか。

「家庭の協力」。

子どもの成長を願って、積極的で具体的な協力、励まし、援助ができればそれに越したことはありませんが、さまざまな家庭環境がある中で、現実問題として理想的な形ばかりではありません。

しかし、どんな家庭でも、保護者が少しばかり我慢したり、子どもたちの成長に必要な、わずかな「北風」を演じることによって、子どもたちが、わざわざ伸びづらくなるような環境に置かれるのを防ぐことはできるはずです。

勉強する気がない子どもに学校を休ませて遊びに連れて行き、帰ってきたら成績を上げろと言われて素直に従う子どもを発見するのは、私が1か月で5kg減量することと同じです。

伸びるために必要なこととして、「指導者の指導力」も欠かせません。

いつも最善の指導をしているつもりでありながら、「別脳」では更に最善手はないかと探しつつ毎日を過ごしています。最善が、次の日には次善になっているかもしれないという期待と不安が常に同居しているのですが、そんな不安を消し去ってくれたり、あるいは新たな課題を与えてくれたりするのに大いに役立つのが、検定や大会、合宿などの行事です。

今年も星の郷教室は積極的に行事に参加していきますので、皆さんも是非活用して下さい。「積極的な姿勢」も技術向上のエネルギーです。壁を作るのも、壁を乗り越えるのも、すべては自分自身なのです。